



全国天満宮総本社
北野天満宮
曲水の宴



日時 令和6年3月9日(土) ※雨天決行
午後1時～午後2時 (開場：午後0時45分)
会場 北野天満宮 紅梅殿前 船出の庭
観覧料 1,000円 ◎前売り券は北野天満宮文道会館受付にて2月10日(土)より頒布いたします。

〈主催〉曲水の宴実行委員会
〈後援〉京都府、京都市、(公社)京都市観光協会、古典の日推進委員会
※お問い合わせ：北野天満宮社務所 075-461-0005
※状況により、日程変更・中止の場合がございます。
※その他開催についての詳細は、当宮ホームページをご覧ください。

菅公顕彰
和漢朗詠

第十五回 北野天満宮

曲水の宴

菅公顕彰 和漢朗詠

全国天満宮の総本社北野天満宮の御祭神菅原道真公（菅公）は、学問・芸能の神として知られていいます。往時もあり高い文才を評価され、幾度も宇多天皇主催の曲水の宴に文人として招かれました。

北野天満宮曲水の宴は、史実に鑑み菅公の御事績を顕彰するとともに、「和魂漢才」の精神を旨とした菅公の御心になうよう、特別に和漢朗詠形式でおこなっております。現代に蘇る雅な平安絵巻の世界をどうぞお楽しみください。

【曲水の宴とは】

庭を流れる小川に酒を入れた杯を流して飲み、題に即した詩を賦するという雅な宴。

もともとは、古代中国で行われていた上巳の祓（毎年三月最初の巳の日に水辺で体を清める行事）に由来し、宴の形式に整えられ日本にも伝えられました。日本においては、桓武天皇ならびに宇多天皇の御代にて最も盛んに開催され、詩歌の他に、諸芸能の披露も行われたといわれています。

朗詠 「花時天似酔」
はなのときははてんもよるがごとし

我君一日之沢。万機之余。

曲水雖遙。遺塵雖絶。

書巴字而知地勢。思魏文以翫風流。

（菅原道真公『菅家文集』『和漢朗詠集』）

【詩の意味】

「曲水の宴は遙か遠くになり、その名残も絶えてしまっている。巴という字のように曲がりくねった川で、風流韻事を好んだ魏の文帝を思っ雅な遊びを楽しむ」と、曲水の宴を再興した宇多天皇をたたえる漢詩の序にあたる一節。菅公の高い教養がうかがえます。平安の宴でも尊ばれた朗詠の節にのせてお聞きいただきます。

和歌・白拍子舞

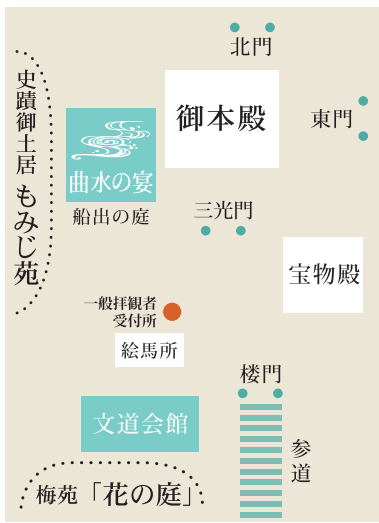
東風吹かば匂ひおこせよ梅の花

主なしとて春を忘るな

（菅原道真公『拾遺和歌集』）



菅公が大宰府に左遷され、京都の自邸を離れる際、ご自身の愛した庭の紅梅に向けて詠んだ和歌です。かつて北野天満宮でも行われていた幻の芸能、白拍子の舞ともにご覧いただけます。



全国天満宮総本社
北野天満宮

お問い合わせ TEL 075-461-0005
右記QRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込むと北野天満宮の最新情報にアクセスできます。
Twitterでもご案内しております。



アクセス
嵐電 北野白梅町駅より徒歩5分
JR 京都駅より市バス50系統
JR・地下鉄二条駅より市バス55系統
JR 円町駅より203系統
地下鉄今出川駅より市バス51・203系統
京阪三条駅より市バス10・51系統
京阪出町柳駅より市バス203系統
阪急大宮駅より市バス52・55系統
阪急西院駅より市バス203系統
※いずれも北野天満宮前下車すぐ